



専門・認定看護師からの ニュースレター

専門・認定看護師へのご協力、ご支援、ありがとうございます。
今回は、がん看護専門看護師 吉野より「多施設共同研究」で行った研究と「がん治療中の排便障害への看護」について紹介させていただきます。

兵庫県立大学看護学部の「がん患者の症状マネジメント」に関する研究に参加し、「排便障害班」として活動しています。多施設協働研究とは、多くの施設が協力しながら事例を集めて行う研究です。短期間にたくさんの事例を集めることが可能になります。これまで「化学療法での排便障害について」や「がん放射線治療中の排便障害」に取り組んできました。ケアに悩む看護師と患者さまたちに届きますように！

2020年10月発行 第12号

1

多施設共同研究の進め方



化学療法や放射線治療を受ける患者さまは下痢や便秘で困ってないのかな・・・？

という疑問から始まります。研究メンバーは10名。OCNSやC.N、大学教員などで構成されています。

⑤ 考察・まとめ (一部抜粋)

- ・不安には予期不安が影響している
- ・患者が医療者へ相談を行えるよう支援する必要性が示唆されている
- ・症状マネジメントによる症状の改善は少ないが、対処法を患者とともにディスカッションしていくことが患者のQOLや自己効力感向上へとつながる可能性がある。

分析を行った結果から考えられることは何か、看護ケアに生かせるのは何か？について考えてまとめていきます

⑥ 発表する

「緩和・支持・心のケア 合同学術集会 2020」にて示説発表

まとめたものを、学会や論文に発表します

がん放射線治療中の排便障害の 症状マネジメントの実態調査

○吉野 葵 (市立池田病院)
 北川 美子 (独立行政法人国立病院機構九洲がんセンター)
 高村 美穂 (兵庫県立がんセンター)
 一土 由季 (市立豊中病院)
 伊藤 優子 (社会福祉法人福米会 伊藤総合病院)
 辻原 美穂子 (パルソノ総合病院)
 藤井 由紀子 (愛媛赤十字病院)
 守野 志穂 (兵庫県立大学大学院看護学研究科博士後期課程)
 福田 正直 (兵庫県立大学看護学部)
 内市 敦子 (兵庫県立大学看護学部)

① 研究計画書作成

② 倫理委員会に申請

テーマ：がん放射線治療中の症状マネジメントの実態調査

まずはメンバーで集まり、何を研究するのか、何のために研究するのかについて決めます。文献検討を行い、どうやって研究していくのかについてまとめ、研究計画書を作成していきます。また、研究が倫理的に問題がないかの審査を受けます。

質的データの分析

(一部抜粋)

- ・下痢を予想し不安になる
 - ・人付き合いや生活への影響が出現し、心理的な影響がでる人もいる
 - ・薬剤の調節、食事や生活の工夫、医療者からサポートを受けるなどの対処方法をとる
- など

治療経過の中で患者さまはどんな体験をしているのか？インタビューから文字を起こし、カテゴリー化します。

③ データ収集

- ・対象者は19名
- ・インタビューで症状の体験や日常生活に及ぼす影響、対処方法などを聴取
- ・自記式質問用紙「自己効力感尺度」や「SF-36 (QOLを調べる尺度)」でのデータの収集
- ・データ収集は治療経過に合わせて4回施行 (開始時、20Gy、40Gy、終了後1ヶ月)

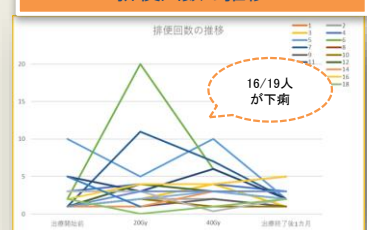
倫理委員会に承認をもらったあと、メンバーがそれぞれの施設でデータ収集を行います

④ データ分析

尺度を使って集めたデータは数値化していきます。

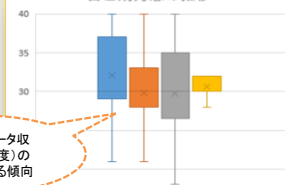
数的データの分析 (一部抜粋)

排便回数の推移

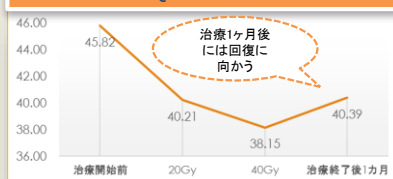


自己効力感の変化

自己効力感の推移

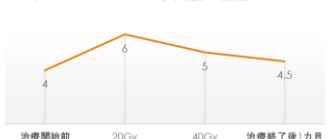


QOLの変化



ブリストルスケール (便性状) の変化

ブリストルスケール中央値の推移



がん治療中の患者さまの 排便障害への看護



2

2020年10月発行 第12号

がん治療中の排便障害の特徴

- がんの影響、治療の影響（抗がん剤、放射線療法、オピオイド、制吐剤）、二次的な影響（脱水や食事がとれていない、活動量の低下）など、便秘や下痢の原因はたくさんあり、がんの治療中の患者さまの多くは排便障害（下痢や便秘）を体験している
- 治療を優先するため、かなり**症状が重くても医療者に相談する人が少ない**
- 排便に関する苦痛があっても「自分でなんとかできる」「慣れている」と考えて、日常生活に困ることはないと思込している人もいる（困っている自覚がない）
- 排便障害による生活の影響について相談には「恥ずかしい」という気持ちが影響する。

がん治療に伴う排便障害の看護

- 治療が始まる前から、**普段とは違う排便障害が起きるかもしれないと説明し**、患者さまやご家族に認識してもらっておきましょう。
- **排泄は非常に個人的な行為**です。「聞かれるのも恥ずかしい」そういった気持ちに配慮しながら、**排便コントロールの重要性を知ってもらい、早めの対応が大切だと日頃から伝えてい**きましょう。
- 他の有害事象とともに**排便に関してどんな症状があるのか傾聴**を行うことで**重症化を予防**できます
- **症状の自覚がない人もいます。**

問診のときには

「今日お通じ出ました？」は×
「どんな性状ですか？」「どれくらい？」「いつ？」「痛みは？」
「薬は使ってますか？」
など具体的に聞いてみましょう。

症状がある場合：

「便秘（下痢）のときにはどうしてるんですか？」とどのような工夫をしているか聞いてみましょう
薬剤調整の他にも、食べ物の工夫、マッサージ、生活上の工夫などをされているかも知れません。
下痢への対処のための下着の工夫やオムツ・パッドの使用については「**人としての尊厳を脅かされた**」と感じる方もおられます。
お気持ちに十分配慮しながら、一緒に対応策を考えていきましょう。

これまでの研究から

排便の回数や、便の性状、排泄パターンに関する日記を記載してもらうと**排便障害の改善がみられた**という報告があります。
排便日記などをつけてもらい、**いつもと違うパターンになれば相談**してもらう、なども効果的だと考えます

「医療者への伝え方」や「相談の仕方」などについて患者さまと話合えると、
患者さまのセルフケア能力はぐっとあがります！

便秘がひどくなったら割り箸でかき出してるの！
だから困ってないよ。



研究の一環として、研究でまとめた結果をもとに放射線性下痢用のガイドブックや症状を記録する日誌などを作成し、いろんな病院で活用いただいています。
当院で「放射線性下痢」の患者さまは少ないのですが、排便のケアを学ぶのに役立つのではないかと思います。ぜひ一度見てみてください。



パンフレットなどはHPからダウンロードできます。
排便障害のほか、皮膚障害、リンパ浮腫、口腔粘膜炎などの症状マネジメントについて掲載しています。
IASM研究班ホームページ：
<http://sm-support.net/index.html>



研究のきっかけはいつも患者さんや看護師の声から。
目の前の声に向き合うことから研究は始まります。
「がん患者さまの生きる力を支えたい」「今日が患者さまにとって少しでもいい日になって欲しい」と常々考え、ケアにあたっています。
ケアに悩んだら、ぜひ一緒に考えさせてください。





認定領域再編成！

貴方も認定看護師を目指してみませんか？

3

2020年10月発行 第12号

2020年 21領域から19領域へ再編成

2020年までの名称	2020年以降
救急看護 (難波・越智)	クリティカルケア
集中ケア (高橋・衣笠)	
緩和ケア (小林)	緩和ケア
がん性疼痛看護 (音地)	
がん化学療法看護 (東)	がん薬物療法看護
訪問看護	在宅ケア
不妊症看護	生殖看護
透析看護	腎不全看護
摂食・嚥下障害看護	摂食嚥下障害看護
小児救急看護	小児プライマリケア
脳卒中リハビリテーション看護	脳卒中看護
慢性呼吸器疾患看護	呼吸器疾患看護
慢性心不全看護	心不全看護
皮膚・排泄ケア (小原)	変更なし
認知症看護 (川添)	
手術看護 (佐伯部・脇本)	
感染管理 (林・生地・横山)	
糖尿病看護 (根来)	
がん放射線療法看護	
乳がん看護	
新生児集中ケア	

興味のある領域があれば私達に声をかけて下さいね！



2019年度の認定看護師制度の改正に伴い、2020年度から特定行為研修内容が組み込まれた新たな認定看護師が誕生します。

救急やがんの分野は認定領域が統合され分野名が変更になります。

必要とされる領域や複数人必要とされる領域が、まだまだ沢山あります！

認定看護師を目指す方へ“教育課程受験”までの経過をまとめてみました。参考にしてください☆

認定看護師教育課程受講までの選考フロー



皮膚・排泄や認知症も注目募集中です！

放射線や乳がんの治療を受ける患者さんも当院にはたくさんいらっしゃいます。

特定看護師という看護師の名称を聞いたことがありますか？次回、その特定看護師について紹介させていただきます。楽しみに！



学会・研究会のおしらせ

2020年10月発行 第12号

4

Covid-19の影響もあり、多くの学会がweb開催となっています。Web開催のいいところは「期間も長く、好きな時に見れる」です。

「遠出するのは難しい」、「興味はあるけどなんだか難しそう」などで、これまで参加できなかった方も一度チャレンジしてみてもはどうでしょうか？

看護のワクワクやドキドキに出会えるかもしれません。

★「第35回 日本がん看護学会学術集会」テーマ：ポストゲノム時代のケアを先導する
web開催期間：2021/2/27～2ヶ月間（参加申し込み受付中）

★「第22回日本救急看護学会学術集会」
web開催期間：2020年12月1日～12月31日

★「第38回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会」テーマ：実践と緩衝
開催期間：2021年2月26日～27日 福岡国際会議場 *10/1現在通常開催の予定

★「第57回日本糖尿病学会近畿地方会」テーマ：大阪DMプラクティス
web開催期間：2020年10月17日～31日

★「第33回日本外科感染症学会総会学術集会」テーマ：経験からその検証へ
web開催期間：2020年11月27日～28日



家から参加♪
web学会

興味のある分野の学会に私
達と参加してみませんか？



Web学会も参加登録が必要です。興味のある学会があれば登録をお忘れなく！